



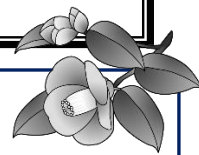
学校だより

開桜 2月号

令和4年1月28日

大田区立開桜小学校

校長 森 伸一



継続こそ力なり！！

校長

3学期の始業式の校長挨拶で、下記のことをお話ししました。

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
- ② 自分がされて嫌なことはしない。自分がしてもらってうれしいことをやっつけていこう。
- ③ 生活面については、上履きのかかとをつぶさないで履く。かかとをそろえて靴箱に入れる。
- ④ 学習面については、魔法の座り方、正しい鉛筆の持ち方、タブレットの有効活用、ハンドサイン
- ⑤ 元氣よく気持ちのよい挨拶

特に真新しいものではありませんが、本校の教育活動を進めていく上で、とても重要であり課題であると考えています。そこで、あえて始業式でお話をしました。担任には、それぞれの学級の児童に、かみ砕いてわかりやすく、伝わるようにとお願いしました。これらのことは、自律した大人に向けての第一歩だと考えています。

「継続こそ力なり」をキーワードに取り組んでまいります。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

さて、1月下旬の大寒から寒い日が続いています。そんな中で、私が過ごした山形での幼少期のことを紹介します。いつもより早く目を覚ますと、すでに祖父母が、新聞屋さんと牛乳屋さんのために、しんしんと雪が降り続く中、前夜から降り積もった雪の片づけをして一本の道づくりをしていました。その作業は、冬の間、ほぼ毎日行われていました。当時、茅葺き屋根の家に住んでいたため、なんとトイレは外にありました。雪が吹き込むトイレで、用をたしていましたが、冬の夜のトイレは、足の冷たさと怖さで身が縮まる思いでした。また、水道管凍結防止のために管にタオルを巻いておきますが、それでも凍結してしまった日は、お湯を沸かし管にお湯をかけて温めます。すると、「チョロチョロ」とわずかな音を立てながら、蛇口から水が出てきます。その時は、心から「やったあ。」と思ったものです。吹雪の日の登校は、これがまた大変で2kmの道のりを黙々と歩いたものです。話をしている余裕など全くないのです。頬や耳は真っ赤になり、最初は痛みを感じますが、次第に感覚がなくなったものです。学校に着いた時は、安堵感のようなものを感じたものです。もちろん、楽しい思い出もたくさんあり、気温がさらに下がり、積もっていた雪が固くなった朝は、道路ではなく田んぼの中を近道して登校したこと、2月の雪上運動会では、張り切りすぎて背中が汗でびしょりになったことなどは、懐かしい思い出です。当時に比べると現在の生活は便利になったものの、自然と共存しながら春の訪れを待ち望んでいる気持ちちは、今も変わらないと思います。ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大の終息を願う気持ちと、とても似ている気がします。皆で、この難局を乗り切っていきましょう。

2月の行事予定

- 2日(水) 4校時授業
- 4日(金) 体育朝会(中学年)
4校時授業(1・2年)
避難訓練(Jアラート発報時対応)
新1年保護者会
- 7日(月) 全校朝会
- 8日(火) 安全指導
- 10日(木) 児童集会
- 11日(金) 建国記念の日
- 15日(火) 5校時授業
- 16日(水) 大田区小学生漢字検定
- 17日(木) 卒業校外学習(6年)
- 18日(金) クラブ発表
- 21日(月) 全校朝会
- 22日(火) 音楽朝会
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 水曜時程 5校時授業
クラブ活動
- 25日(金) 5校時授業 保護者会(2・4・5年)
- 26日(土) 6年生を送る会 3校時授業
土曜補習 二分の一成入式(4年)

※SC(スクールカウンセラー) 在校日…火・木

- ◇読書週間 1/24~2/4
- ◇漢検チャレンジウィーク 2/7~2/16
- ◇SNS東京ルール週間 2/28~3/4

寒さに負けず、元気に過ごしましょう

2月の生活目標

生活・保健部

1年で一番寒い時期になりました。新型コロナウイルスのオミクロン株が蔓延し、本校でも学級閉鎖をせざるを得ない状況が続いています。引き続き、手洗い・うがいをしっかり行い、部屋の換気や湿度に気を付けて過ごすことを指導しています。外遊びも、学年ごとや学級ごとですが、遊べる時にはのびのびと遊んで欲しいです。よく食べよく遊び、寒さを吹き飛ばしましょう。

今年度の避難訓練について

生活・保健部

今年度の避難訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ほとんどが放送での取り組みとなりました。その中でも、少しずつ校庭へ避難する学年を増やしながら、5年生の初期消火訓練や4年生の起震車体験など、取り組めることを行いました。また、大田区より児童全員にヘルメットが支給され、避難時における安全性がより高まりました。コロナウイルスがまん延していても災害はいつ起こるかわかりません。学校では避難訓練を中止にせず、工夫しながら続けていきます。いざというときに、どのような行動をとるか、一人一人が考え、行動していけるよう、指導しています。ご家庭でも日常的に避難時の行動をお子様と話し合われることをお願い申し上げます。

外国語活動の取り組み

外国語担当

本校では担任と外国語指導員のグレン先生が連携し、全学級で外国語に慣れ親しむ活動を行っています。中学年は「聞くこと」「話すこと」を中心とした活動、コミュニケーションを想定した活動を行っています。高学年は教科書を使って授業を行い、他の教科と同じように3観点で評価を行います。学習内容は「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」の4つを取り入れた授業を行っています。また、日本語や日本文化への理解を深めながら、外国語やその背景にある文化などへの異文化理解も推進しています。

どの学年も簡単な英単語や身近な事柄の英語のフレーズを使って楽しく外国語活動を行っています。ぜひご家庭でも話題にしたり、英語を使ったりして、さらに外国語に慣れ親しんでほしいです。

開桜小の感染症対策・取り組み

養護教諭

ご家庭での朝の検温と健康観察など、毎日の健康観察カード提出へのご協力ありがとうございます。本校の感染症対策としては、全員マスクをすることと手洗いの徹底です。手洗いは泡石けんを準備し、登校した時、体育や外遊びが終わった時、給食の前、掃除の後、教室移動がある図書、音楽、図工、家庭科等は授業の前後に実施するように指導しています。さらに、各教室にアルコール消毒液を準備し、登校時と給食の直前にアルコールで消毒、給食時間は落ち着いた音楽を流し、おしゃべりなしで食べています。換気も常時行っています。今年度も11月から1月にかけてインフルエンザに罹った児童が一人もおらず、他の感染症も激減しています。手洗いとマスクの徹底などの効果は絶大だと思います。現在はクラスをまたがない工夫も追加しています。引き続きご家庭の協力をよろしく願いいたします。

エールウィークの実施(10月・1月)

今年度より、年2回「児童理解を深めるため」「自己肯定感を高めるため」に行っています。本校では、まず自分のよさを確認し、次に児童同士でよいところを見付け、全体で共有する際に教師が一言添えて紹介しています。「嬉しい言葉がたくさんあった。」「自分には、たくさんの長所があることに気がきました。」「など、児童の喜ぶ声を多く聞くことができました。今後も児童理解をさらに深め、児童の自己肯定感を高めていくように努めて参ります。